

平成24年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

| | | | |
|---|--------------|-----------------|-----------|
| 1 学校名 | 佐賀県立牛津高等学校 | | |
| 2 所在地 | 小城市牛津町牛津274 | | |
| 3 校長名 | 岡 陽子 | | |
| 4 学級数 児童生徒数 | 12学級 471人 | 5 実施学年 児童生徒数 | 3年 40人 |
| 6 取組のねらい | | | |
| <p>「食」のプロを目指す食品調理科調理師コースの生徒たちは、普段の生活の中で「UD」を意識することはほとんどない。しかし、社会に出るにあたって、この「UD」について考えることはとても大切なことである。そこで、3年生の授業「課題研究」の中で、「食」の視点からのUDについて考え、高校生の自分たちにできることを考えさせ、取り組ませたいと考えた。課題研究は4人の班で取り組むため、クラスの中の一班を「UD」に関する研究の班として充て、調理の視点からのUDについて、生徒たち自身で課題を見つけ、取り組ませた。</p> | | | |
| 7 取組の実際 | | | |
| 1. 研究テーマ設定…「食」の視点からのUDということで、何ができるか考えた。 | | | |
| ○ アレルギーの子供も食べられるお菓子の研究 | | | |
| 小麦アレルギーが多いため、アレルギーの原因を調べ、様々な粉を使ったお菓子を作りながら、小麦粉の代用となるものを調べた。米粉、コーンスターチ、浮き粉、コーンミールをはじめ、多くの粉を使ってカップケーキやクッキーを試作し、食感や味について小麦粉との比較を行った。 | | | |
| ○ 聴覚障がい者向けの調理ビデオの作成 | | | |
| 調理師を目指す調理師コースの生徒たちが、福祉のプロを目指している生活経営科の生徒とコラボレーションし、調理の基本技術の中から、「プロの卵焼きの作り方」を伝授するビデオ作りに挑戦した。課題研究の中の「技術向上班」に卵焼きの作成を依頼し、ビデオを撮影し、構成やナレーションを考えた。生徒たちがナレーションを吹き込み、生活経営科の生徒に、ナレーション部分の手話を依頼した。 | | | |
| 夏休みにビデオの構成やナレーションの吹き込み、手話の撮影を行い、2学期から、「アドビプレミア」というソフトを使ってビデオ編集を行った。生徒たちは初めて挑戦するソフトに苦戦しながらも、撮影した動画、ナレーション、手話、テロップ、効果音などを配置し、作品を作ることができた。 | | | |

出来上がった作品は、課題研究発表会で紹介し、DVDに焼いた。



8 取組の成果と課題

食の視点からのUD化は非常に難しく、研究テーマを絞るのに苦戦した。アレルギー対応のお菓子については、試作段階で終わってしまい、科学的な検証や商品開発への取組にまでつなげることができなかった。

聴覚障害者向けのビデオ作成については、発想はとても良いものであり、生徒たちも意欲的に取り組んでいた。ビデオ編集に時間がかかり、実際に聴覚障害者に視聴してもらい改善するところまではいっていない。今後は、この作品をもとに、多くの方に見ていただき修正を図りたい。

1年間の活動を通して、生徒が「食」の視点からできるUD化について考えることができたのは非常に良い経験となったと思う。また、他学科とのコラボレーション企画の第一歩となった。今後も、他学科とコラボレーションしながら取り組めば、よい取り組みができるのではないかと考える。